普通徴収切替理由書（兼仕切紙）

市区町村名	小平市	指定番号	8							
事業者名										

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が２人以下 （下記「普Ｂ」から「普Ｆ」までに該当する全ての（他市区町村分を含む）従業員数を差し引いた人数）	人
普B	他の事業所で特別徴収（乙欄該当者など）	人
普C	給与が少なく税額が引けない（年間の給与支給額が100万円以下）	人
普D	給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月でない）	人
普E	事業専従者（個人事業主のみ対象）	人
普F	退職者、退職予定者（５月末日まで）及び休職者 （休職者とは、休職により４月１日現在で給与の支払を受けていない場合に限る）	人
合計		人

上記の符号（普Ａから普Ｆまで）の基準に該当すれば例外的に普通徴収が認められます。
その場合、給与支払報告書提出時に本書式「普通徴収切替理由書（兼仕切紙）」も、併せて提出してください（複数の符号に該当する場合は、いずれか１つに人数を計上してください）。
※この普通徴収切替理由書（兼仕切紙）の記載に不備がある場合及び、個人別明細書の摘要欄に符号の記載がない場合は、原則どおり、特別徴収対象者となります。

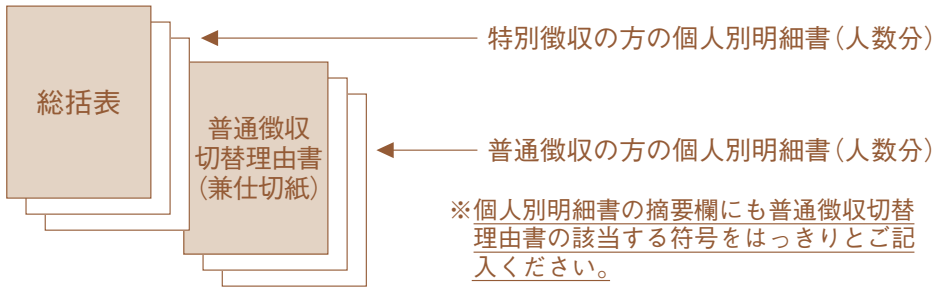
普通徴収切替理由書（兼仕切紙）の記入と提出について

1　この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準（普Ａから普Ｆまで）を示すものです。

2　当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に、人数を記入し、給与支払報告書と併せて提出してください。
（人数を計上するのは小平市提出分のみです。）

3　普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号（普Ａ、普Ｂなど）を１つご記入ください。

4　特別徴収の方と普通徴収の方がいる場合は、仕切紙として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入し、総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。



※個人別明細書の摘要欄にも普通徴収切替理由書の該当する符号をはっきりとご記入ください。

5　eLTAX等の電子媒体で普通徴収の給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力してください。また、摘要欄に該当する普通徴収切替理由の符号（普Ａ、普Ｂなど）を入力してください。（※普通徴収切替理由書（兼仕切紙）の添付は不要です。）

令和２年度（令和元（平成31）年分）　給与支払報告書（総括表）　提出期限１月31日　（特別徴収義務者指定番号）

小平市長殿　　令和２年　月　日提出

（切り取って提出してください。）

小平市提出用

給与支払者（特別徴収義務者）

1　給与の支払期間　　年　月分から　月分まで

2　個人番号又は法人番号

3　郵便番号

4　所在地（住所）

5　（フリガナ）
名称（氏名）

6　代表者の職氏名

7　経理責任者氏名　　電話

8　連絡者の係及び氏名並びに電話番号　　課　係　　内線　番

9　会計事務所等の名称及び電話番号　　電話

10　提出区分　年間分　退職者分

11　給与支払の方法及び支払期日

12　事業種目その他必要な事項

13　提出先市区町村数

14　受給者総人員　名

15　小平市への報告人員

特別徴収（給与天引）	(A)　名
普通徴収切替理由書に記載した人数	(B)　名
合計	(A＋B)　名
納入書	要・不要

普通徴収切替理由書（兼仕切紙）を普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入してください。

他社分（前職分）を含んで年末調整をした従業員がいる場合は、該当者の個人別明細書の摘要欄に次の①～④の項目を記載の上、右欄を○で囲んでください。　①支払者　②支払金額　③社会保険料　④源泉徴収税額
摘要欄に①～④の項目の記載がない受給者分、右欄に○囲いがない給与支払者分については、他社分を含まないものとして税額の計算がされます。

他社分を含む

給与支払報告書の提出について【必ずお読みください】

令和２年１月31日（金）までに提出してください。

〔総括表について〕
1　この総括表に個人別明細書（２部）を添え、同封の返信用封筒（定型外）に切手を貼ってご提出ください。
2　他の総括表等を使用する場合でも、小平市に提出する場合は、この総括表も併せてご提出ください。
3　会計事務所等に依頼する場合には、この総括表をお渡しください。
4　特別徴収義務者の所在地、名称及び法人番号等に変更や誤りがありましたら、二重線を引き朱書きで訂正してください。
5　個人事業主の方は個人番号をご記入ください。
（個人番号を記入する場合は、左側を１文字空けてご記入ください。）

〔個人別明細書について〕
1　１月１日現在の在職者だけでなく、中途退職者についてもご提出ください。
2　普通徴収対象者の摘要欄には必ず普通徴収切替理由書（兼仕切紙）の符号を明記し、普通徴収切替理由書を仕切紙として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入してください。
3　受給者本人、（源泉・特別）控除対象配偶者及び扶養親族（16歳未満の扶養親族も含む）の個人番号をご記入ください。
4　**受給者の合計所得金額が1,000万円超で、配偶者の障害者控除を適用する場合は、摘要欄に配偶者の氏名及び同一生計配偶者である旨を記載してください（例「氏名（同配）」）。**
5　年末調整の際、住宅借入金等特別控除の適用を受けた方については、住宅借入金等特別控除の額、居住開始年月日、住宅借入金等特別控除の区分（特定取得等）、住宅借入金等特別控除可能額等をご記入ください。
6　生命保険料の控除額がある場合には、生命保険料の金額の内訳欄に、それぞれの支払金額の合計をご記入ください。
7　提出後に変更や誤りが発見された場合は、個人別明細書に「訂正」と朱書きのうえ再提出してください。

以上の点、ご協力の程、お願いいたします。

（問合せ先）小平市市民部税務課市民税担当
〒187-8701　小平市小川町２丁目１，３３３番地　　電話　042（346）9523（税務課直通）